

令和3年度 新潟県立阿賀黎明高等学校 第3回 学校運営協議会 議事録

1 日時

令和4年1月24日(月) 13時30分～15時30分

2 会場

新潟県立阿賀黎明高等学校 学習室4



3 参加者

委員7人

県教育委員会1人 (オンライン参加)

(オブザーバー参加)

- ・阿賀黎明高校魅力化プロジェクト関係者4人
- ・阿賀黎明高等学校教職員3人

計15人



(参加者氏名等一覧)

(1) 学校運営協議会委員

| 氏名 | 所属・役職など | 所属部会など |
|-------|-------------------|----------|
| 清野 一男 | 前阿賀町教育委員会教育長 | 会長、評価部会 |
| 遠藤 佐 | 阿賀町教育委員会教育長 | 副会長、評価部会 |
| 稲生 一徳 | 阿賀町立阿賀津川中学校長 | 評価部会 |
| 齋藤俊太郎 | 麒麟山酒造株式会社 代表取締役社長 | 地域協働部会 |
| 猪俣 一成 | 株式会社巴山組 専務取締役 | 地域協働部会 |
| 石川英理香 | 新潟県立阿賀黎明高等学校PTA会長 | 評価部会 |
| 平山 剛 | 新潟県立阿賀黎明高等学校長 | 地域協働部会 |

(2) 県教育委員会

| 氏名 | 所属・役職など |
|-------|-------------------|
| 齋藤 達也 | 高等学校教育課企画振興係 指導主事 |

(3) 阿賀黎明高校魅力化プロジェクト

| 氏名 | 所属・役職など |
|-------|--------------------------|
| 西田 卓司 | 阿賀町教育委員会 学校教育課 黎明学舎 塾長 |
| 及川 真央 | 阿賀町教育委員会 学校教育課 黎明学舎 スタッフ |
| 波多野彩佳 | 阿賀町教育委員会 学校教育課 黎明学舎 スタッフ |
| 坂井 千晃 | 阿賀町教育委員会 学校教育課 黎明学舎 スタッフ |

(4) 阿賀黎明高等学校教職員

| 職名 | 氏名 | 備考 |
|----|------|-------------|
| 教頭 | 本保正佳 | 学校運営協議会事務局長 |
| 教諭 | 佐藤真 | 進路指導主事、数学科 |
| 教諭 | 小川育久 | 1学年主任、英語科 |

4 次第及び発言の概要

(1) 開会

会長挨拶（清野会長）

- 現在、SDGs は、世界の潮流であるが、阿賀黎明高校のコミュニティ・スクールやプロジェクトが SDGs に直結しており、コロナ禍後を見据えた教育となっている。

校長挨拶（平山校長）

- 阿賀町並びに阿賀町教育委員会、阿賀黎明探究パートナーズの皆様方から、本校の教育活動並びに生徒募集の取組にご支援を賜っていることに感謝申し上げます。
- これから、本格的に令和4年度の高校入試の準備が始まり、2月8日（火）に特色化選抜、3月3日（木）には一般選抜学力検査が実施される。阿賀町教育委員会によると、次年度の入寮希望者は、県内一人を含む9人であるとのこと。
- 令和4年度は、1学級募集が継続され、「地域探究コース」という名の下で、教育活動を進めて行くこととなる。学校の魅力化を一層進め、地域からはもちろん、県内外からも選ばれる学校にしていきたい。

(2) スクール・ミッションについて（平山校長）

- 先日、学校のスクール・ミッションの素案を県に報告した。スクール・ミッションは、各高等学校がその存在意義と社会的役割等を明確化するために策定するもの。策定にあたっては、学校運営協議会が設置されている学校においては同協議会と協議することとされている。本校では、すでに公表されている教育目標等を基にして素案とした。今後、県からの指示により変更もあり得る。
- スクール・ミッションの公表は、新潟県教育振興基本計画の見直しに合わせて令和5年3月の予定となっている。スクール・ミッション策定後は、3つのスクールポリシー（具体的な方針）を策定することとなっており、公表は令和6年3月の予定である。

(3) 令和3年度の取組（西田 黎明学舎塾長）

- 3年の「地域学」で作成した CM を校内で選定し、一番良いと評価されたものを「ふるさと CM 大賞」に出展し、令和4年1月2日（日）にテレビで放映された。残念ながら入賞はできなかった。

(石川 委員)

- 生徒の力作について、より多くの阿賀町民に知って、観てもらえるような工夫をしてはどうか。

(西田 黎明学舎塾長)

- 今後検討していく。

(清野 会長)

- コミュニティ・スクールの取組は、高校生が先進的に行っているのので、そのノウハウを中学校、小学校と共有していく必要があるのではないか。学校間の連携を密にし、活動を行ってほしい。

(稲生 委員)

- 今年度から阿賀津川中学校もコミュニティ・スクールに取り組んでいる。令和3年7月には県の生涯学習推進課指導主事、小学校、中学校で研究会を開催した。統括コーディネーターは、探究パートナーズの清野眞也様をお願いしている。

(猪俣 委員)

- 令和3年度の活動を振り返っての改善点は何か。

(西田 黎明学舎塾長)

- 「阿賀町さいこうプロジェクト」に関して、活動の数を多くするのではなく、一つ一つにじっくりと時間をかけて取り組み、丁寧に振り返るなどの工夫が必要であるので、次年度は改善していく。

(猪俣 委員)

- 次年度に向けて共有しておいた方が良いことは何か。

(西田 黎明学舎塾長)

- 2学年の職場体験に関して、生徒自らの興味関心から職場を選び、プロジェクトを考え、実行するよう応援したい。生徒の意欲は増したようである。次年度もこの方針で実施していきたい。

(4) 令和4年度の取組予定 (本保教頭)

- 阿賀町教育委員会及び阿賀黎明探究パートナーズと連携しながら、「総合的な探究の時間」及び「地域学」等の教育活動を進めていきたい。
- 令和4年度入学生からは教育課程も変わり、「地域探究コース」として新たな教育活動が展開される。今後とも御協力をお願いしたい。

(5) 「新潟の未来を SaGaSu プロジェクト」の進捗状況と次年度の予定について (齋藤指導主事)

- 現在、有志の生徒が「新潟の未来を SaGaSu プロジェクト」のロゴマークを作成中 (6校から24案)。
- 遠隔授業の利点は、「多様な科目の開設」及び「学校外の人材と協働的な学習」ができる。多様な学校間連携などにより、教育環境を魅力化していく。

- 「生徒は走る、教師は伴走する」をイメージして活動していくべき。全県にも波及させたい。答えのない不確実な時代を生き抜く力を育成するために、生徒自ら「走る」ことが重要である。
- 一人一台の端末導入は、全国に先駆けて実施している。
- 今年度は各 10 回ずつの遠隔授業予定。生徒、教員とも機器の操作に習熟してきた。大型ディスプレイを介するだけの授業では限界があるので、一人一台のタブレットを使用し、慣れていく必要がある。
- 令和 3 年 11 月から令和 4 年 2 月までネットワーク校の 2 年生を対象とした大学入学共通テストや大学個別入試に向けた補習を YouTube でオンデマンド配信し、希望者には双方向でライブ配信を行う。
- 10 月下旬、羽茂高校が修学旅行の一環で立ち寄り、阿賀黎明高校で探究発表会を行ったが、地域の方がファシリテーターとして参加し、そのことが全国的に注目された。
- 令和 4 年 2 月 4 日、全県高校及び中等教育学校に対して令和 3 年度の遠隔授業の成果を公開授業の形で観てもらおう場面を設定。
- 令和 4 年度より、遠隔授業を本格実施。
- SDGs17 の目標に絡めた探究テーマの設定、スケールメリットを活かした探究学習の共同発表、共同研究グループを形成し、様々な展開を期待したい。

(清野会長)

- 佐渡金銀山と阿賀町の銅山をそれぞれ近隣の学校が研究・連携し、交流や情報交換をしてはどうか。互いに刺激になるのではないかな。

(齋藤指導主事)

- 重なる部分があれば、共同研究も考えられる。現在、SaGaSu プロジェクトの参加校は、地学基礎を履修し、それが目玉の 1 つであると考えている。

5 熟議 (みらいず works 小見まいこ様、山本一希様)

「来年度に向けて」

- 今年度の学校運営協議会と「地域学」の活動を振り返り、次年度へ向けた課題と成果を検討した。

6 閉会

副会長挨拶 (遠藤副会長)

- 今年度の成果と課題を次年度の計画・立案に活かしてもらいたい。



資料

令和3年度 地域と連携した授業実績

黎明学舎 西田卓司

■ 1学年阿賀町さいこうプロジェクト 「あがまちゼミ」

プロジェクト実践者の話を聞き、地域を知るとともにプロジェクトがどのように成立していくかを学び2年次のプロジェクト企画につなげる

対象：1学年20名

日時：8月27日、10月15日、10月29日、11月12日 いずれも13:55～15:37

【テーマおよび講師】

| テーマジャンル | 8月27日 | 10月15日 | 10月29日 | 11月12日 |
|----------|--------|---------|---------|---------|
| まちづくり・福祉 | 高橋真也さん | 清野義昭さん | 石川久作さん | 谷垣智子さん |
| 観光・商業 | 山崎京子さん | 長谷川智子さん | 長谷川智子さん | 長谷川智子さん |
| 自然・農林業 | 目黒貴博さん | 杉崎三代子さん | 斎藤栄さん | 渡部通さん |



■ 2学年阿賀町さいこうプロジェクト 「職業人インタビュー(6月30日)」、「職場体験(10月19日)」

自分の興味関心分野でテーマを設定し、インタビューの後プロジェクトを設計し受け入れ先事業所と共に実施・実践する。

対象：2学年20名

【テーマおよび受け入れ先】

| テーマジャンル | 受け入れ先 | 活動概要 |
|---------|-------------|-----------------|
| アウトドア | 遠藤雄樹さん | カヌーでの川下り |
| 林業 | 東蒲原森林組合 | 林業体験(植樹、伐採等) |
| 食 | 上川直売所 | 直売所のチラシ配り・アンケート |
| カフェ | 阿賀の里 | かき氷についてのアンケート |
| 川・街コン | 食生活改善推進委員 | 溪流で釣った魚を調理 |
| 建設 | 巴山組 | 危険な場所を調べてまとめる |
| 健康・観光 | NPO 法人かわみなど | 学校から清川高原まで徒歩移動 |
| 福祉・保育 | 社会福祉協議会 | 高齢者とリースづくり |



■ 2 学年地域学「プロジェクト活動」6 月～12 月 隔週 計 10 回

阿賀黎明探究パートナーズ、およびコーディネーターチームと一緒に地域をフィールドにプロジェクトを企画立案・実践し、まとめて発表する。

対象：2 年生 17 名（「地域学」選択）

商業、観光、福祉、まちづくり、土木、農業の 6 チームに分かれてプロジェクト活動を実施。

※夏休み中も自主活動を実施。



■ 3 学年地域学（3 年 2 組）「ふるさと CM 大賞」応募動画作成 5 月～9 月 隔週 計 11 回

高校生の視点で「ふるさと」を再解釈し、30 秒の CM 制作を体験する。身近なところから地域との繋がりを考え、それを表現する動画を企画・撮影・編集し発表する。

対象：3 年 2 組 27 名（「地域学」選択）



■ 新聞掲載等

令和 3 年 10 月 26 日 新潟日報（阿賀町さいこうプロジェクト 2 学年 カヌー体験）

